

【全体概要】

岩手県北地域で栽培されていた飼料用品種は倒伏しやすい課題があったため、平成29年に耐倒伏性に優れる新品種「たわわっこ」が採用された。本事業では、生産者及び実需者をはじめとする関係者が連携して新品種・新技術の評価を通じて、省力低コスト・安定収量確保等を実現できる「強み」のある産地を形成する。

新品種・新技術等の概要

●「たわわっこ」の品種特性

- ・熟期「早」
- ・耐倒伏性「強」、多収
- ・草型「穂重型」

(農林水産省委託プロジェクト研究
「国産飼料プロ」により育成)

●検討技術の概要

- ・追肥重点型の施肥体系、緩効性肥料を用いた省力施肥体系
- ・乾燥調製コスト低減、作業分散のための立毛乾燥技術の適応性



たわわっこ いわてっこ
※いわてっこ: 県北地域の主要な主食用品種



たわわっこ (249粒) いわてっこ (108粒)

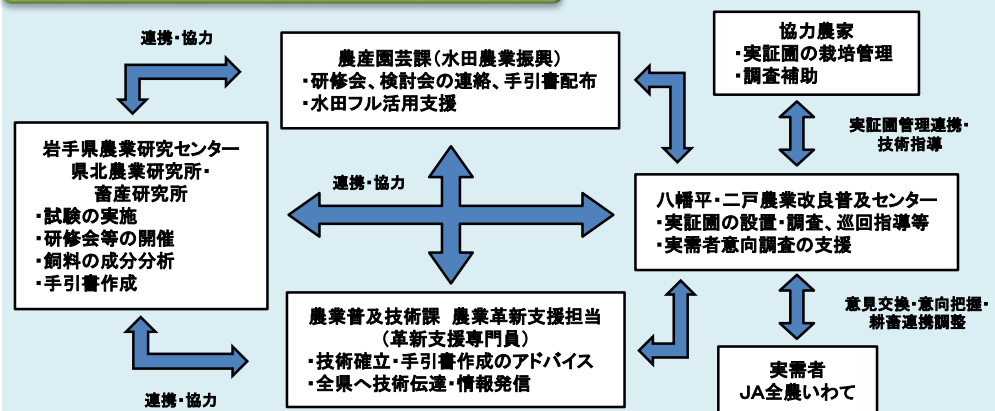
主な取組内容

- ・実証圃を活用した「現地研修会」の開催
- ・普及組織と連携した新品種の特性把握
- ・課題把握と次年度に向けた「実績検討会」
- ・産地・実需者の意向・ニーズ等調査
- ・成分分析結果に基づくPR
- ・栽培手引書の作成



生産者を交えた現地研修会

実施体制図



課題と今後の対応

●実証結果

- ・目標収量(粗玄米で700kg/10a)確保のための施肥法を明らかにし、省力的な施肥法も実証した。また、立毛乾燥技術の適応性を確認し、研究成果として公表した。
- ・成分分析により子実用とうもろこしと同等の栄養価を有していることを実需者等に周知したほか、飼料用米へのニーズ・意向等の調査を行った。
- ・生産者を交えた現地研修会を開催し、収量確保のための追肥の重要性を確認した。また、関係機関を対象した実績検討会を開催し、栽培手引書(暫定版)と調査結果を照らし合わせ、課題や次年度の方向性等を検討した。

●課題

- ・栽植密度や栽培様式(直播栽培、高密度播種苗栽培)の検討

●今後の対応

- ・栽植密度や栽培様式での栽培事例を収集し、栽培手引書を充実させる。